

# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立宮代特別支援学校 】

1 実践テーマ	【 IV 】
2 実施対象者 (学年・人数)	小学部4～6年生：27名 中学部1～3年生：35名 高等部1～3年生：26名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 音楽 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	日本の楽器に触れ、日本で生まれた楽器への理解を深める。
5 取組内容	<p>1. 開催日時 小学部：11月 6日(水) 10:20～11:50 中学部：10月31日(水) 11:00～12:00 高等部：10月31日(水) 10:00～11:00</p> <p>2. 講師 宮代町大正琴サークル「琴和会」の皆さん</p> <p>3. 会場 本校 視聴覚室</p> <p>4. 内容 ①鑑賞(事前に講師と相談の上、演奏してもらう曲を選定) ②音鳴らし、「きらきら星」の演奏体験</p>
	 
	<p>鑑賞の様子</p> <p>演奏体験の様子</p>

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•大正琴の音色をはじめ聴く児童生徒たちであったが、音楽の授業等で親しんでいる歌の演奏が始まると一緒に歌ったり、笑顔を見せたりする様子が見られた。</li> <li>•用いられる楽譜が五線譜ではなく、数字で表された楽譜であることを理解することができた。</li> <li>•演奏体験では、最終的には講師の支援なしで演奏することができた生徒もいた。</li> <li>•中学部と高等部では大正琴の成り立ちについて扱い、日本で開発された楽器であるという理解を促すことができた。</li> <li>•取組後に教員に実施したアンケートでは、次年度以降も継続して行ってほしいという意見が多く上がった。</li> <li>•講師をしてくださった地域住民に本校のことや児童生徒のことを知っていただく良い機会となった。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•講師の選定にあたっては、宮代町社会福祉協議会に相談し、サークルを紹介していただいた。</li> <li>•本校において事前に複数回の打ち合わせを行い、本校に通う児童生徒の実態について説明した。</li> <li>•実施にあたっては各学部の音楽科の教員とも連携を図った。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•講師との十分な日程の調整が必要である。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•音楽科を中心に次年度も実施する予定。</li> </ul>

# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立宮代特別支援学校 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ・Ⅴ 】
2 実施対象者 (学年・人数)	全校児童生徒 130名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( )</p> <p>② 行事名 (浦和レッズとの交流会)</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカーに対する興味関心を高める。</li> <li>・スポーツを楽しむ心を育む。</li> <li>・余暇活動の充実につなげる。</li> </ul>
5 取組内容	<p>(1) 開催日時 1月10日(金) 13:00~14:30</p> <p>(2) 講師 浦和レッドダイヤモンドズの選手</p> <p>(3) 会場 本校 体育館</p> <p>(4) 内容</p> <p>①選手によるデモンストレーション披露</p> <p>②パス体験</p> <p>③選手との交流</p>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロサッカー選手のテクニックに触れることができた。</li> <li>・選手との交流を通して、サッカーへの興味関心を高めることができた。</li> <li>・実際の試合を観戦してみたいと思う児童生徒が増えた。</li> <li>・各学部の代表児童生徒が、自分の言葉でお礼の言葉を言うことができた。特に、自分から話をすることに苦手意識をもつ生徒が「We are Reds!」の掛け声をはじめ、全校生がそれに合わせて声を出す場面を作ることができた。</li> </ul>

7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 内容は児童生徒の実態を考慮して計画した。</li> <li>• デモンストレーションの披露で選手のプレーやテクニックを見たうえでパス体験をし、児童生徒があらかじめイメージを持ったうえで体験に臨むことができるよう配慮した。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日程調整をはじめとした交渉にあたっては、窓口の一本化を図る。</li> <li>• プロチームを呼ぶ場合は委員会などの校内組織を作って事前の準備をしたほうがよい。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現時点においては、来年度の実施は検討していない。</li> </ul>